

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年2月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで60年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2023年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年2月度ギャラクシー賞月間賞

浦沢直樹の漫勉 neo「手塚治虫」

2月3日放送 25:00~25:49 日本放送協会

「漫勉」がとうとう漫画の神様・手塚治虫に迫った回。故人となった手塚に、マンガの書き方をもう直接聞くことはできない。けれども、残された未完成原稿を手掛かりに、浦沢直樹という知性を駆使して手塚がどのようにペン入れしていたのかを推察していく。「漫勉」一つの到達点をみた。

テレビ70年記念ドラマ「大河ドラマが生まれた日」

2月4日放送 19:30~20:45 日本放送協会

「テレビ70年記念ドラマ」ながら、決して大仰になることなく、創世記テレビ業界の「熱」や「夢」を金子茂樹の脚本、生田斗真と阿部サダヲのユーモアを交えた掛け合いなどで、軽やかに描いたことが奏功した。初期のドラマ創りの苦労とアーカイブ映像が巧みに構成され、テレビ史を楽しむ作品に仕上げた力量を感じる。

テレメンタリー2023「沈黙の月『寺越事件』忘れられた母子」

2月11日放送 4:50~5:20 北陸朝日放送

1963年、石川県の13歳の少年が叔父と共に漁に出て行方不明に。24年後に北朝鮮で生きているとわかる。母は平壤に行って息子に会えたが、厚遇されている息子の微妙な立場をおもんばかって口を閉ざした。今や母も卒寿を過ぎた。忘れられた拉致事件の歳月を2007年から継続して見つめてきた記者の活動が光る。

E T V特集「ルポ 死亡退院～精神医療・闇の実態～」

2月25日放送 23:00~24:00 日本放送協会

精神科病院（滝山病院）で横行していた入院患者に対する虐待、不適切な治療の実態を明かし、その背景を調査。「うっせえな殺すぞ」「腕の骨折るぞ」など患者を威圧する看護師の音声や、病院の内部を伝える映像と音声の生々しさに言葉を失う。精神医療の密室性の問題を改めて告発した報道である。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年5月号に掲載します